

【授業科目】 国際関係論 International relations theory

担当教員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	実務経験	オフィスアワー	教職員への授業公開
岩崎 祐子	1年次後期	選択	1	15	講義			可
授業概要 (内容と進め方)及び課題に対するフィードバック方法	<p>授業概要／この授業では、揺れ動く国際関係、国際政治・経済情勢の現状について、注目すべき国々やトピックスに焦点を当てて学修する。また、現実の政治経済を理解するために、新聞記事を取り上げて、ニュースを学修する。オンデマンド授業で実施する。</p> <p>課題に対するフィードバック方法／提出された課題について、授業時に全体の総評コメントを行う。</p>							
授業の位置づけ	<p>本学のディプロマ・ポリシー⑤「将来に向け臨床検査を主体的に学び、臨床検査の専門職としてのキャリアを伸ばせる能力を持つことができる。」の達成に寄与している。</p>							
到達目標 (履修者が到達すべき目標)	<p>①国際政治・経済情勢について理解ができる。 ②関心のあるテーマを見つけ、関連ある資料等の情報収集ができる。 ③自分の感じたこと、考えたことを表現することができる。</p>							
時間外学習に必要な学修内容および学習上の助言	<p>事前学習：指定した関連Webサイト、資料を事前に読んでおく（週2回、各60分）。 事後学習：講義で学んだことの振り返りを行う。各自で興味のある新聞ニュースについて考える（週2回、各60分）。 さらに学修を深めたい場合には、資料・参考書等を紹介するので、教員まで問い合わせ願いたい。</p> <p>※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間（2単位15回科目の場合：予習+復習4時間/1回）（1単位15回科目の場合：予習+復習1時間/1回）（1単位8回科目の場合：予習+復習4時間/1回）を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。</p>							
授業計画	<p>第1回 ガイダンス 第2回 21世紀の日本経済 第3回 アメリカの対外政策 第4回 先進国と途上国（1） 第5回 先進国と途上国（2） 第6回 中国のグローバル開発戦略 第7回 巨大企業の活動 第8回 欧州連合の動向</p>						<p>全て 岩崎</p>	
評価方法 評価基準	<p>授業後に提出する小レポート 50%、定期試験 50%</p>							
教科書	なし			参考書等	<p>東京経済大学国際経済グループ著『私たちの国際経済 見つけよう、考えよう、世界のこと』有斐閣</p>			
学生へのメッセージ	<p>この授業を通して国際政治経済ニュースに関心をもってもらいたい。 図書館に参考図書が揃っているので、学修の参考にされたい。</p>							